

サッカー選手におけるスポーツ動作の左右差の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年1月6日 ～2022年 3月 31日

〔研究課題〕

サッカー選手におけるスポーツ動作の左右差の検討

〔研究目的〕

人の体は解剖学的に左右差が存在し、スポーツ動作においても左右差が生じていると考えられます。しかしながら、先行研究では利き側、非利き側の比較は行われていますが、左右差の検討はほとんど報告されていません。本研究ではサッカー選手を対象とし、モーションキャプチャシステムを用いてスポーツ基本動作中の動きの左右差の特徴を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕

近年、人の動きの左右差に着目したトレーニングやリハビリテーションが行われており、スポーツ動作における非対称性が明らかになれば、各競技における効果的なトレーニング方法やリハビリテーションの考案につながる考えられます。

〔対象・研究方法〕

帝京大学教育改善等改革プログラム内において実施し(実施時期:2020年1月から3月)、帝京大学男子サッカー部の学生に対して既に取得したスポーツ基本動作の動作分析のデータを分析し、後ろ向きに検討します。

ただし、測定時に傷害によりスポーツ活動が制限されているもの、過去に下肢に手術歴がないものは除外します。

〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 准教授 佐保泰明

〔個人情報の取り扱い〕

収集したデータは、匿名化し、データを取扱う際はセキュリティソフトをインストールしたコンピュータを用いて保管します。電子ファイルにはパスワードを設定します。研究終了後の保管方法は、電子データをセキュリティ付記録媒体に保存し、鍵付きのキャビネット内に保管します。10年経過後、記録媒体はデータ消去ソフトを用いた後、物理的に破壊してから廃棄します。卒業研究発表などでの公表の際にも個人が特定される情報は提示しません。

〔その他〕 特記事項なし

対象となる方で、ご自身の検果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 佐保泰明 職名 准教授
研究分担者： 宮下直翔 職名 医療技術学部スポーツ医療学科 4年
所属： 帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科
住所：東京都八王子市大塚359 TEL:042-676-8211（代表）〔内線 3289〕